

Umbrella Roamingクライアントバージョン2.2.150の「ブロックされたレコード」エラーについて

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[問題の背景](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrella roamingクライアントバージョン2.2.150でAレコードがブロックされる既知の問題について説明します。

背景説明

バージョン2.2.150のローミングクライアントには、以前のクライアントバージョンでクライアントが保護されていた場合に「保護されていない (ブロックされたAレコード) 」という状態が報告されるという既知の問題があります。このメッセージが表示された場合は、将来のリリースで解決策が利用可能になるまで、原因と回避策を確認してエラーを削除してください。今後のリリースに関する最新情報を受け取るには、リリースノートを購入してください。

エラーメッセージはimage:

Umbrella Roaming Client (2.2.150)

IPv4 DNS status:



Unprotected (Blocked A records)



Unencrypted

User Identity:

IPv4 Address:

IPv6 DNS status (BETA):



Disabled

_thumb_45882.png

問題の背景

Roamingクライアントのバージョン2.2.150には、Aレコードが暗号化される前に解決可能であることを確認する、新しいDNS検証チェックが含まれています。これは、[Bluecoat/K9](#)や[npcap](#)などの競合するサードパーティソフトウェアが存在する場合に保護および暗号化された状態に入らないための保険となります。これは、保護された状態になった後でDNS Aレコードの解決が可能であることを確認するための補助的なチェックです。

現在、このチェックによってクライアントが保護されていない状態になることを妨げる既知の問題があります。これは、クライアントが保護チェックと暗号化チェックから保護チェックと非暗号化チェックにフェールオーバーするときに発生します。Aレコードのチェックでは、保護および非暗号化を正常に入力するのではなく、AレコードのチェックによりクライアントがUnprotected状態になります。シスコはこの問題を認識しており、恒久的な解決策に向けて取り組んでいます。

また、状態が変化してから非暗号化/保護モードに戻るまでの時間を遅延させることも可能です。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。